



COMPASS 発達支援センター守口

事業所における自己評価総括表(公表)

○事業所名	COMPASS 発達支援センター守口
○保護者評価実施期間	令和6年9月1日～令和6年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 21 名 (回答者数) 19 名
○従業者評価実施期間	令和6年9月1日～令和6年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6 名 (回答者数) 6 名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月1日

	事業所の強み(※) と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援の充実 児童一人ひとりの発達状況やニーズに応じた個別支援計画を作成し、適切な療育を提供しております。	遊びを通じた学びの導入 児童が興味を持てる遊びを活用しながら、発達を促す支援を行っております。	新しい教材・遊具の導入 発達段階に合わせた新しい教材や、感覚統合を促す遊具の充実を図っております。
2	新しい教材・遊具の導入 発達段階に合わせた新しい教材や、感覚統合を促す遊具の充実を図っております。	日常生活スキルの向上 着替え、手洗い、食事などの基本的な生活動作を、楽しく学べるよう支援しております。	家庭との情報共有の強化 連絡帳やデジタルツールを活用し、支援内容や児童の成長を保護者様と共有する機会を増やしております。
3	多様な療育プログラムの提供 感覚統合、運動療育、コミュニケーション支援など、多様なアプローチを取り入れております	家族支援の強化 家庭での支援につながるアドバイスをを行い、保護者様向けの勉強会も実施しております。	地域との連携の強化 医療機関や保育園、幼稚園などと連携し、継続的な支援ができる環境を整えております。

	事業所の弱み(※) と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援スペースの確保が難しい 活動の種類が増える中で、十分なスペースが確保できない場合がございます。	施設環境の制約 限られたスペース内で多様な活動を行うことが難しい場合がございます。	スペースの有効活用 設備配置を工夫し、活動ごとに最適な環境を整えるよう努めております。
2	支援プログラムの更新が必要 児童の発達状況に応じ、より効果的なプログラムの見直しが必要となっております。	支援対象の多様化 児童一人ひとりの発達状況や特性が異なり、画一的な支援が難しくなっております。	支援プログラムの定期的な見直し 最新の療育手法を取り入れながら、より効果的な支援に向けて見直しを行っております。
3	送迎の課題 送迎サービスを利用する家庭が多く、ルートや時間の調整が課題となることがございます。	保護者の支援ニーズの変化 保護者様のニーズが多様化しており、個別対応がより求められております。	送迎サービスの効率化 ルートの見直しや保護者様との調整を行い、スムーズな送迎を目指しております。